



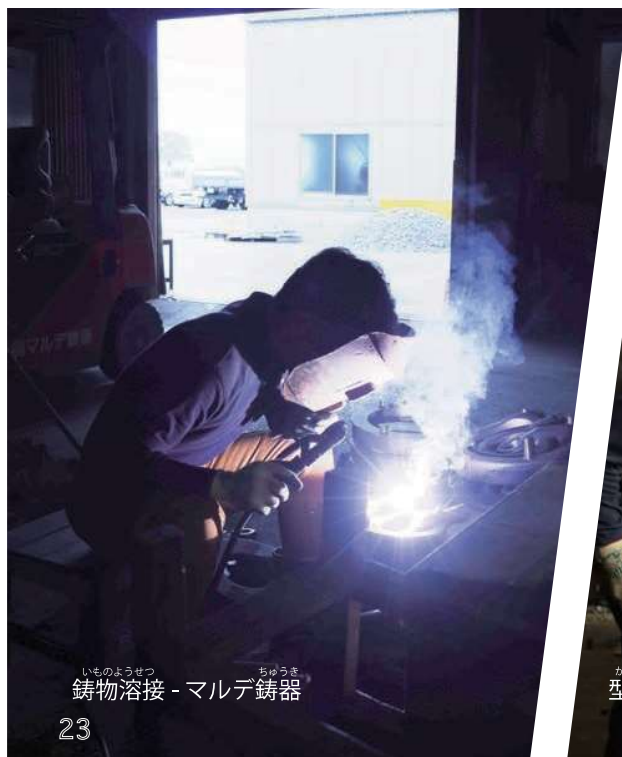
ラン く じ ぞうけいき みわちゅうぞう
LANを組み込んだ造型器 - 三輪铸造



しあ ひらのちゅうこう
仕上げ - 平野铸工



てく ぞうけい いとうげんちゅうぞうしょ
手込み造型 - 伊藤鉦铸工所



いものようせつ ちゅうき
铸物溶接 - マルデ铸器



かたあ せぜちゅうぞうしょ
型合わせ - 瀬木铸造所



とがた しるたちゅうこう
塗型 - 城田铸工

Q. 大切なことは？

鋳造業はまだ手作業が多い業界です。労働環境などの配慮は当然重要だし、先代の頃からの社員もいるので、仕事の基本を変えすぎないことも意識しています。騒音などの問題があるため、近隣の方への配慮も必要です。工場の操業には多くの方が関わっているからこそ、人に対しての感謝は忘れてはいけなし、「人を大事にしなければ成り立たない仕事」とであると日々感じています。



技能実習生の受け入れ

仕事の見える化

注湯作業



自慢の設備

瀬木鋳造所では鋳造工程が一目でわかるラインのつくりになっています。次の場所の仕事の進行具合がわかりやすいので、仕事を進める上でとても効率の良い作りになっています。

<ライン>



Q. 工場での工夫は？

昔、鋳物業界は「砂を1mm削れ」と言われたら感覚で削るような“職人”の仕事でした。現代ではそのような職人は少なくなっています。うちでは全員が仕事をしやすいように、仕事を「見える化」しています。例えばその日に出的不良数を細かく記録したり、指示を紙にまとめ現場で見られるようにする等の全体共有のシステム作りをしたりしています。

Q. 大切なことは？

未来の鋳物業界のために最も大切なものは「人」だと思っています。1つの中小企業として注力していける会社であるか、人材育成をする気があるかどうか、会社が社の将来を分けると考えています。城田鋳工では「中小企業の学校化」を目指しており、現場でも先生と生徒のようにいつでも質問できる環境を作っています。また、目立たなくても生活に不可欠な製品を作るので、「日本を創っている」という誇りを持って仕事をしています。

質問できる環境

モーターフレーム

1979年の城田鋳工



自慢の設備

城田鋳工の自慢は綺麗な電気炉です。他の工場に比べると遅い導入でしたが、だからこそより良い設備を入れようということで、集塵機付きの高性能な電気炉を取り入れました。

<電気炉>



Q. やりがいは？

うちでは受注生産で製品を作っているのが難しい技術を要求されることも多く、何度も作り直すこともあります。しかし今までどんな製品も製造しており、「城田鋳工に頼めば大丈夫」という信頼を頂いています。どうすれば顧客の要望に答えられるかを毎回ゼロから考える。大変ですが、何事にも代え難いやりがいであると感じています。



Q. 大切なことは？

私は東京で AI の研究者をしていましたが、実家の工場を継ぐため三重に帰りました。研究者時代の経験を生かし、工場に LAN を引いたり、何万件ものデータを扱い、安く均一な製品を作るプログラムを開発したりしました。今の工場での作業は、近い将来、人からロボットに置き換わるでしょう。作業をロボットに任せ、私たち人間は創造的なことをすることが鋳物の未来につながると考えています。



さいしん 最新3Dスキャナー



いもの きょうど はか きかい 鋳物の強度を計る機械



しきねんせんぐうしりょうかん やね 式年遷宮資料館の屋根



自慢の設備

これは材料を分析する装置です。製品の傷の位置や欠陥部分の元素を特定できます。これによって鋳造工程のどの部分で欠陥が起きたかが分かり、今後の改善に繋がります。

<スペクトロ分析装置>



Q. 大変だった製品は？

2000年ごろ、伊勢神宮の式年遷宮資料館の屋根を鋳物で作る依頼を受けました。1枚13mの長い板が256枚、重さにして約10tになります。試作段階では大きなひねりが出てしまい大変でした。木型は4つに分割し、4つの注湯口から13の湯口に枝分かれする法案^{*}を作りました。200年ものものを、という依頼をされ、それに応えられるものを作りました。

^{*}1 法案：鋳物を作るための計画・設計

Q. 大切なことは？

「サポートインダストリー」という言葉がありますが、私はあまり好きではありません。鋳物は下請けでは売りに限界があります。やはり社長として会社を経営するからには売り上げを出したい。他の会社さんを見ていけば分かるように、これからの時代はオリジナル製品を作って会社に価値をつけていかなければいけません。自社オリジナル製品で世の中に認められるようなものを作っていきたいと思っています。

マンホール



と バリ取り



とそうちゅう せいひん 塗装中の製品



自慢の設備

最後の仕上げに鋳物に色を塗る場所です。色付けは雑にやると気泡が入るので慎重に行います。インクは機械で調合し、実際に塗るのは人の手でしています。

<塗装場>



Q. 大変だったことは？

昔、営業の仕事の時に鋳物の重さを感じで覚えるためひたすら持ち続ける特訓をさせられました。重すぎて翌日指が曲がった状態で固まってしまいました。しかし実際の営業では計りを使わされ、特訓はいらないじゃないか！と思いました(笑)。工場内での作業だと最も辛いのはバリ取りだと思えます。今は外国人の子もやってくれて助かっています。

Q. 大切なことは？

商売をする上で売上は大切ですが、それ以上に社会貢献になることをしたいと思い、小学校で授業をしています。鋳物についてはもちろん、ものづくりの仕事の面白さや苦労を伝えています。外国から色々なものを買える時代ですが、今の日本があるのは先代が地道なものづくりをしてきたからだと思います。日本のものづくりを守っていきよう、社会貢献できる活動をしていきたいです。



コンロの穴開け作業



中子入れ作業



蚊やり器



Q. 蚊やり器のきっかけは？

鋳物で桑名を盛り上げる企画に参加し、「蚊やり器」を製作しました。実は蚊やり器は企画の第3弾商品でした。第1弾はドアチャイム、第2弾はご飯釜。その時に挙げたマーケティング面などの課題を考えて、第3弾の蚊やり器を開発しました。製作をうちで引き受け、3万~4万台ほど売れて成功を収めました。

自慢の設備

マルデ鋳器では現在でもキューポラを使っています。現在でも操業しているところはなかなか無く、操業しているキューポラは全国的にも珍しいと言えます。



Q. 大切なことは？

鋳物は見えないところで使われることが多く、見た目の綺麗さで価値が変わることはあまりありません。それでも100%の完成度を目指して作業をする人は多く、それはそれでいいことですが、80%の出来でもスピードを重視して大量生産した方が効率がいい。もし問題が出ればその時修正案を考える。仕事なのでより効率よく、利益が出る考え方を心がけています。



注湯作業



炉から出る不純物



ケトルベル



Q. ケトルベルのきっかけは？

私はソ連発祥のケトルベルに興味を持ちました。しかし使ってみないとその需要が分からない。そこで2年間ケトルベルを使ってみて、効果を実感し、作ろう！と決めました。何を作るにしても最初はお金がかかります。しかし興味のあるものを作れば、失敗しても趣味にお金を使ったと前向きになれるので、ケトルベルの製造を決めました。

自慢の設備

うちの自慢は人です。うちは他社に比べ、設備にあまりお金をかけておらず、伝統的な製法で鋳物を作っています。大変な環境の中で働いてくれている職人のみんなが自慢です。

<人>



いものしんす

IMONO FRIENDS

いもの ともだちしょうかい なかよ
くわな 鋳物のお友達を紹介します。仲良くしてね！

ホルちゃん



マンホールの女
の子。柄つきの
マンホールに憧
れている。



マンホール

ベルくん

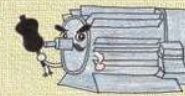


筋トレが趣味の
男の子。明るい
性格で鋳物友達
がたくさんいる。



ケトルベル

モーターフレーム将軍



リーダーシップ
があり、みんな
から頼られる存
在の男の子。



モーターフレーム

キュー太



身長が高い男の
子。体温が高い
ためいつも眠い
表情をしている。



キューボラ

バナ太郎



怒っているように
見えるが、実は情
熱的で常にやる気
のある男の子。



ガスコンロ

カヤリツキーマン



蚊を見つけたら
生きては帰さない
ヒーロー。出番が
多い夏が大好き。



蚊やり器

とりべ姉妹



2人1組の双子。
おてんばな妹と
上から支える姉
の相性抜群姉妹。



とりべ 取鍋

かまのすけ

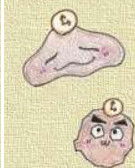


いつもご飯を分
けてくれる優し
い男の子。彼が作
る白米は大人気。



あつりょくがま 圧力釜

スナモン



普段は温和だが、
体が硬くなると
性格も表情もキ
ツくなる。



じこうせい すな 自硬性の砂



愛知大学文学部メディア芸術専攻 × 三重県鋳物工業協同組合